

海塩弘子さんの句集 (十月)

○粒々と 新米光る 朝の膳

○水汲めば 銀水引の ひそとあり

○合唱が 独唱になる 路地の虫

○夕げどき なき猫呼べり 秋ついで

○朝素面 タベほろ酔い 酔芙蓉

